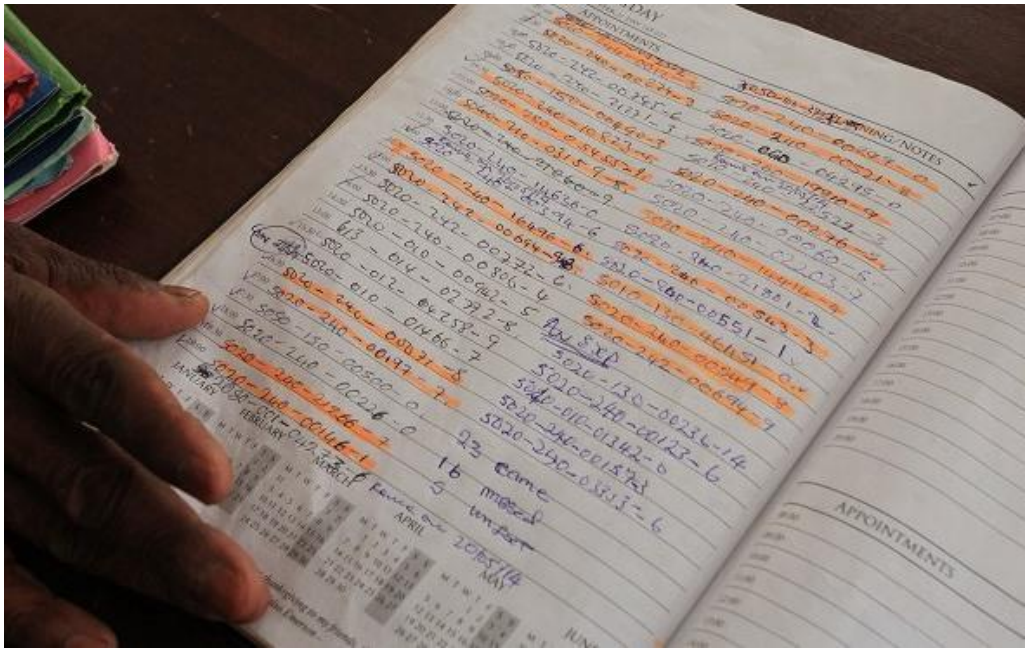
【添付資料 1】事業内容、事業の効果に関する写真

（ア）ART センターの建設と整備

【写真 1】建設中のムウェンベシ・クリニックの ART センターの様子。基礎及び上部構造工事が完成した。(2014 年 6 月 23 日　ムウェンベシ・クリニックにて)

（イ）ART 患者情報管理システムの改善と確立



【写真 2】日記帳の該当日のページに予約患者の ID 番号を記入し、当日予約通り来院したかを確認する「ダイアリー・システム」。来院しなかった患者の家庭訪問のためにも有益な記録となる。(2014 年 5 月 30 日　マウントマクル・クリニックにて)

（ウ）服薬支援ボランティアの育成と自立支援

【写真 3】マウントマクル･クリニック ART センターの服薬支援ボランティアの活動の様子。家庭訪問だけでなく、当日診察を受ける患者カルテの出納や、家庭訪問が必要な患者のカルテの仕分けを行う。（2014 年 5 月 30 日　マウントマクル・クリニックにて）

【写真 4】ケース・スタディをもとに服薬支援ボランティアが家庭訪問記録票の記入方法を学ぶワークショップの様子。写真右に立つのは当会現地職員ムセンゲ・ムソマリ。
（2014 年 6 月 13 日　ナンゴングウェ・クリニックにて）

（エ）ART 患者及びその親近者に対する啓発活動実施

【写真 5】ART 患者及びその親近者向けの HIV/エイズ基礎知識及び服薬支援ワークショップにて、参加者が食物のカードを使い、治療中の栄養摂取について学び合う様子。
（2014 年 6 月 11 日　チランガ地区にて）

（オ）学校エイズ対策クラブに対する予防啓発活動実施

【写真 6】ムウェンベシ地区マーノ小学校を対象としたエイズ対策クラブ指導者研修にて、HIV/エイズ患者に対する差別と偏見をテーマに、独自で創作した寸劇を行う参加者たち。
（2014 年 4 月 18 日　ルサカ市内にて）

【写真 7】エイズ対策クラブ向けの HIV/エイズ基礎知識ワークショップにて、グループワークを行うマーノ小学校とウェストウッド小学校のクラブメンバーたち。
（2014 年 5 月 7 日　ルサカ市にて）